

1. はじめに

近代社会は、ストレスを抱えやすい環境になっています。厚生労働省の調査(平成28年度・生活基礎調査の概要)によると、日常生活で悩みやストレスを抱えている人(12歳以上)は47.7%となっており、約半数の人が身体的・精神的にダメージを負っていることがわかります。また、12~19歳では男性31.1%・女性39.9%となっています。青春を謳歌し、輝かしく思われる10代も人知れず悩みを抱えているのです。

「シマエーる」は、そのようなストレスを抱えている学生や、モチベーションを上げたい学生へ様々な方法でエールを送るコミュニケーションロボットです。辛いときには、励ましてくれたり、応援してくれたり、歌を歌ってくれたりします。「シマエーる」とお話しして、癒されましょう！

2. 「シマエーる」について

コンセプトは「きみだけの応援団鳥」です。通常のコミュニケーションツールでは周囲の目が気になる、自由に過ごすことが難しいなどの悩みを抱えた学生を対象としています。また、対話や占いなどを通じて利用者を元気にさせ、ストレスを軽減させることを目的としています。学生向けであるため、幼すぎない、恥ずかしくないということを重視しています。シマエナガがモチーフのボディであるため小さく、可愛く、触り心地が良いです。そして、簡単に持ち運びが可能であるため、場所や時間を問いません。集団生活でスペースが小さい、大きなぬいぐるみでは恥ずかしい、と感じる学生も使うことができます。従来のコミュニケーションロボットでは珍しい声の選択が可能です。

利用者の発言を取得し、スピーカより応答を行います。その中で、占い・対話・応援・励ましなどを実現します。「シマエーる」と触れ合うことで、シマエナガと仲良くなれる、可愛いなどの感情が生まれ、信頼関係を築くことができます。

AIY Voice Kitの中に入っているRaspberry Pi Zeroを、自作した座布団(左)またはリュック(右)に入れて使用します(図1)。

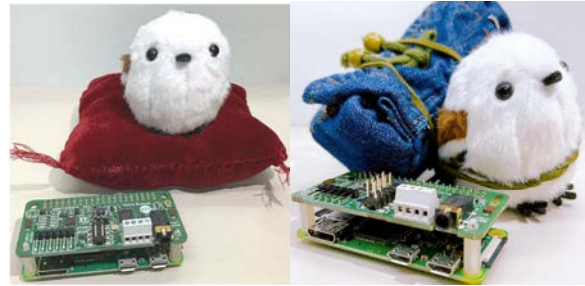


図1: 「シマエーる」 + Raspberry Pi Zero

3. システム概要

ユーザがAIY Voice Kitを搭載した「シマエーる」に話しかけると、Google Cloud PlatformのGoogle Assistant APIにてSpeech To Textが呼び出され、テキストに変換されます。そしてそのテキストが、Google Assistant APIを経由して、AIY Voice Kitに返され、そのテキストに応じた音声ファイルが再生されます。

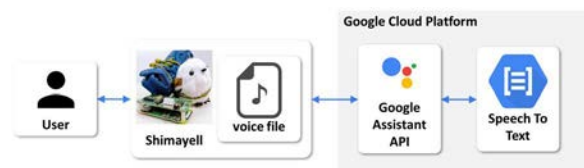


図2: システム構成

4. おわりに

生きてると、誰もが様々な辛いことや嬉しいことを経験します。辛いことがあると気分が落ち込んだり、自己否定したりします。そんなときは誰かに相談したり、自分の悩みを打ち明けたりしたくてもなかなか勇気が出ないことがあるでしょう。また、嬉しいことがあっても話し相手がいなかったり、話すのも少し気まづかったりすることがあるでしょう。そんな人たちが「シマエーる」との対話を通じて前向きな姿勢になっていけるようにします。